

3. 将来都市構造

本町がめざすまちづくりの将来像の実現に向けて、都市機能の骨格となる「ゾーン」・「拠点」・「軸」を明確にすることで、「コンパクト・プラス・ネットワーク※」型の都市構造を実現し、便利で環境負荷の低いまちづくりをめざします。

3.1 ゾーン

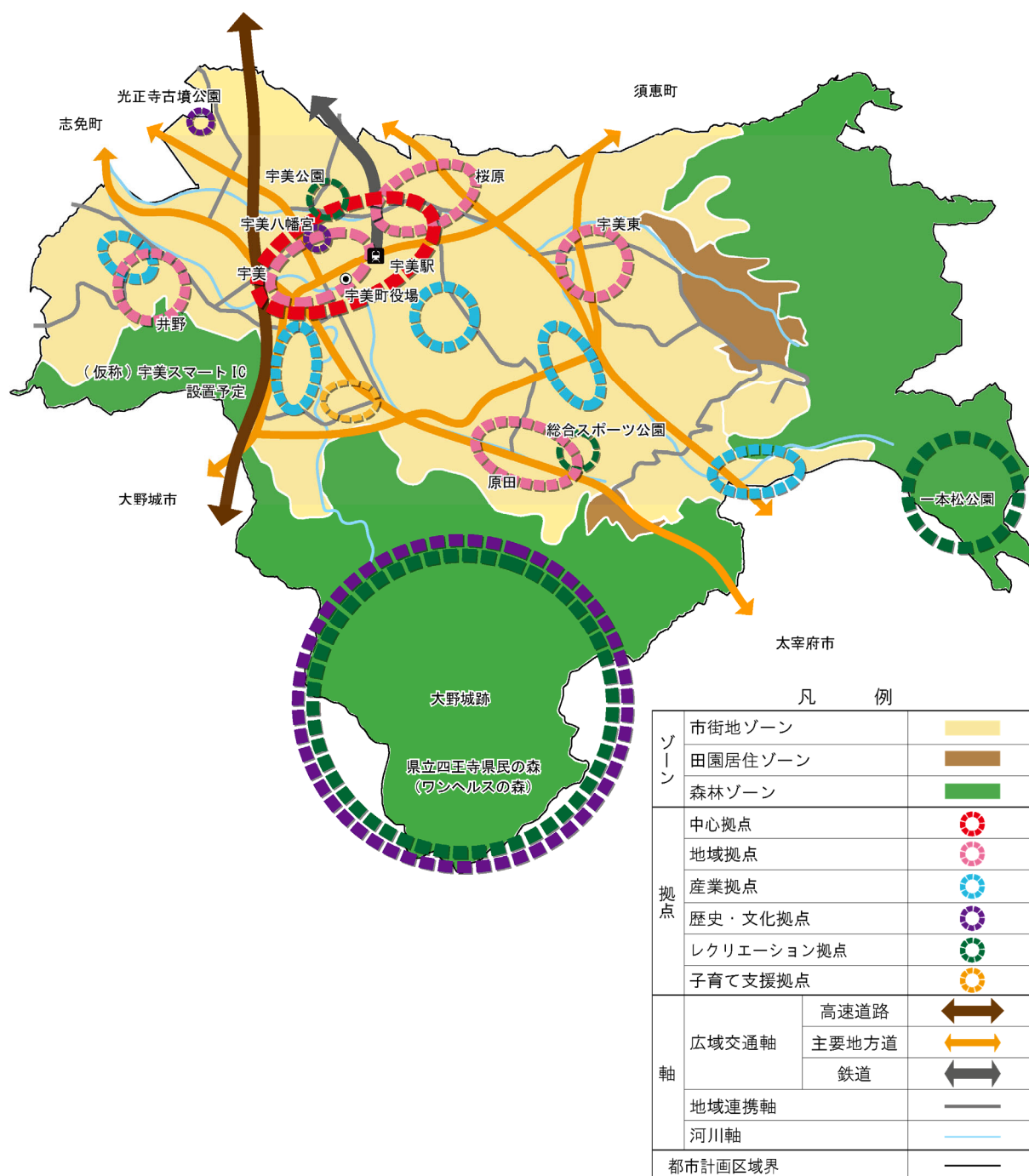
ゾーン名	構成・概要
市街地ゾーン	都市的土地利用を中心とした活力に満ちたまとまりのある市街地環境を構築
田園居住ゾーン	市街地ゾーンと森林ゾーンの緩衝帯として、田園と里山に包まれた良好な集落環境を保全
森林ゾーン	歴史・文化資源や豊かな森林を保全するとともにレクリエーションなどの交流空間を構築

3.2 拠点

拠点名	構成・概要
中心拠点	JR 宇美駅周辺を中心市街地を位置づけ、本町の玄関口、町民サービスの中心地として魅力ある拠点を形成
地域拠点	本町では小学校区を範囲とする地域コミュニティを推進していることから、現在の小学校区コミュニティ運営協議会事務局や小学校周辺を位置づけ、周辺地域の生活サービスの拠点を形成
産業拠点	既存工業団地や流通業務施設が集積する場所を産業拠点に位置づけ、企業立地の誘導・促進、集約による効率性と産業振興効果を確保するほか、町民生活との共存を図る
歴史・文化拠点	宇美八幡宮、大野城跡及び光正寺古墳などの歴史・文化資源を位置づけ、本町の歴史・文化の象徴となる拠点
レクリエーション拠点	県立四王寺県民の森や一本松公園、総合スポーツ公園を位置づけ、レクリエーション活動の中核となる拠点
子育て支援拠点	こども教育総合支援センター（うみハピネス）やこども療育センター（すくすく）を位置づけ、子育て支援の中核となる拠点

3.3 軸

軸名	構成・概要
広域交通軸	本町と周辺市町を連絡するとともに、本町の骨格を形成する主要道路を位置づけ、JR 香椎線や九州縦貫自動車道との連携により、広域交通ネットワークを形成
地域連携軸	主要な町道を位置づけ、広域連携軸を補完するとともに、町内各地域間の移動を支える町内交通ネットワークを形成
河川軸	宇美川や井野川など、市街地にうるおいをもたらす河川を位置づけ



＜将来都市構造＞

第 1 章

第 2 章

第 3 章

第 4 章

第 5 章

第 6 章